

平成 25 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24 年 7 月 31 日

上場会社名 王子製紙株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 3861 URL <http://www.ojipaper.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 進藤 清貴
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 武田 芳明 (TEL) 03(3563)1111
 四半期報告書提出予定日 平成 24 年 8 月 9 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 3 月期第 1 四半期	304,129	△0.9	12,384	△25.6	10,171	△36.5	6,789	△16.6
24 年 3 月期第 1 四半期	306,816	8.1	16,646	3.9	16,023	4.2	8,137	△2.7

(注) 包括利益 25 年 3 月期第 1 四半期 20,538 百万円 (40.0%) 24 年 3 月期第 1 四半期 14,667 百万円 (— %)

	1 株 当 たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株 当 たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25 年 3 月期第 1 四半期	6.88	6.87
24 年 3 月期第 1 四半期	8.24	8.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	一株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25 年 3 月期第 1 四半期	1,815,912	536,021	25.6	470.12
24 年 3 月期	1,634,992	463,299	27.4	454.20

(参考) 自己資本 25 年 3 月期第 1 四半期 464,017 百万円 24 年 3 月期 448,308 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24 年 3 月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25 年 3 月期	—	—	—	—	—
25 年 3 月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 25 年 3 月期の連結業績予想 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株 当 たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第 2 四半期(累計)	620,000	1.4	30,000	△9.4	25,000	6.3	11,000	△8.4	11.14	
通 期	1,270,000	4.7	68,000	26.4	60,000	24.0	28,000	26.3	28.37	

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2 社（社名）日伯紙パルプ資源開発株式会社、Celulose Nipo-Brasileira S. A.、 除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第 10 条の 5 に該当するものです。詳細は、添付資料 3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25 年 3 月期 1 Q	1,064,381,817 株	24 年 3 月期	1,064,381,817 株
② 期末自己株式数	25 年 3 月期 1 Q	77,370,230 株	24 年 3 月期	77,353,510 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25 年 3 月期 1 Q	987,017,757 株	24 年 3 月期 1 Q	987,889,813 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により回復基調にあるものの、欧州金融危機や円高等により、先行き不透明な状況が続いています。

紙パルプ業界におきましては、一般洋紙は需要が減少する中で、円高や中国市場の需給軟化による輸入紙増加影響もあり低調に推移し、板紙・段ボールなどの需要も産業用途を中心に低調な動きとなりました。

当社グループは、海外投資を引き続き積極的に行なっており、インドにおける子会社設立、ブラジルのパルプ生産会社の連結子会社化などを進めました。国内既存事業においては、最適な生産体制構築を進め、固定費を中心としたコストダウンを図っています。

以上により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高304,129百万円（前期比 0.9%減収）、営業利益12,384百万円（前期比 25.6%減益）、経常利益 10,171百万円（前期比 36.5%減益）、当期純利益 6,789百万円（前期比 16.6%減益）となりました。

各セグメントの状況は、次のとおりです。

○紙パルプ製品事業

・板紙

段ボール原紙の販売は、飲料関係は堅調に推移したものの、青果物、およびその他一般需要が低調に推移したことにより減少となりました。

白板紙の国内販売は、昨年度に震災復興需要があったことなどにより、高級白板紙・特殊板紙・コート白ボールともに、前年を下回りました。

・包装用紙

包装用紙の国内販売は、景気低迷による需要不振が続き、減少となりましたが、輸出はアジア向け需要が堅調に推移し、増加しました。

・一般洋紙

新聞用紙の販売は、国内向け、輸出向けともに減少しました。

印刷用紙の販売は、国内は需要が減少し輸入紙が増加する状況の中、販売価格の維持を優先したこともあり販売数量は大幅に減少しました。輸出は、横這いに推移しました。

・雑種紙

雑種紙の販売は、世界経済減速による輸出産業の不振および昨年度に震災復興需要があったことなどにより減少しました。

○紙加工製品事業

・段ボール（段ボールシート・段ボールケース）

段ボールの販売は、食品関係が堅調に推移したものの、青果物の低調や電機関係の生産拠点移転の影響等により減少しました。

・その他（家庭用品・紙器・粘着紙他）

衛生用紙の販売は、トイレットロールは若干の増加でしたが、ティシュペーパーは価格重視の政策により、減少しました。

紙おむつの販売は、子供テープ型は大幅に減少、パンツ型も減少しました。大人用おむつは前年並みとなりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比し180,919百万円増加して、1,815,912百万円となりました。新規連結影響などにより、流動資産は55,441百万円増加し、固定資産は125,478百万円増加しました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比し108,198百万円増加して、1,279,891百万円となりました。当第1四半期末の有利子負債は前連結会計年度末に比し、86,705百万円増加し、871,426百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比し72,721百万円増加して、536,021百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加2,208百万円、その他有価証券評価差額金の減少3,605百万円、為替換算調整勘定（海外連結子会社等の純資産の為替換算に係わるもの）の増加17,419百万円、少数株主持分の増加56,995百万円です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、当社の持分法適用の関連会社である日伯紙パルプ資源開発株式会社の株式を追加取得したことにより、同社は当社の持分法適用の関連会社から連結子会社になりました。同社の100%子会社であるCelulose Nipo-Brasileira S.A. も当社の連結子会社となりました。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。これによる損益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,881	46,346
受取手形及び売掛金	261,384	290,594
有価証券	554	3,819
商品及び製品	81,394	88,372
仕掛品	15,479	16,988
原材料及び貯蔵品	57,462	64,516
その他	45,355	49,197
貸倒引当金	△4,304	△3,187
流動資産合計	501,207	556,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	200,398	203,586
機械装置及び運搬具（純額）	341,352	381,476
土地	233,530	236,278
その他（純額）	107,283	242,772
有形固定資産合計	882,565	1,064,114
無形固定資産		
のれん	15,427	15,769
その他	10,984	11,399
無形固定資産合計	26,411	27,168
投資その他の資産		
投資有価証券	175,648	128,749
その他	51,704	41,945
貸倒引当金	△2,545	△2,714
投資その他の資産合計	224,807	167,980
固定資産合計	1,133,785	1,259,263
資産合計	1,634,992	1,815,912

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	216,781	216,177
短期借入金	336,532	390,616
コマーシャル・ペーパー	—	19,000
1年内償還予定の社債	160	160
未払法人税等	9,232	3,482
引当金	2,349	1,483
その他	69,138	70,124
流動負債合計	634,195	701,045
固定負債		
社債	120,320	120,270
長期借入金	327,707	341,379
引当金		
退職給付引当金	50,398	50,721
その他の引当金	3,561	7,808
引当金計	53,959	58,530
その他	35,509	58,666
固定負債合計	537,497	578,846
負債合計	1,171,692	1,279,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	103,880	103,880
資本剰余金	113,012	113,010
利益剰余金	304,432	306,641
自己株式	△43,363	△43,368
株主資本合計	477,961	480,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,675	3,069
繰延ヘッジ損益	186	△118
土地再評価差額金	5,063	5,061
為替換算調整勘定	△41,579	△24,159
その他の包括利益累計額合計	△29,653	△16,147
新株予約権	346	362
少数株主持分	14,644	71,640
純資産合計	463,299	536,021
負債純資産合計	1,634,992	1,815,912

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	306,816	304,129
売上原価	236,681	237,284
売上総利益	70,134	66,845
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	28,946	28,272
その他	24,541	26,188
販売費及び一般管理費合計	53,488	54,460
営業利益	16,646	12,384
営業外収益		
受取利息	67	177
受取配当金	1,419	1,391
持分法による投資利益	1,227	—
その他	730	978
営業外収益合計	3,445	2,547
営業外費用		
支払利息	2,649	2,746
為替差損	225	297
持分法による投資損失	—	402
その他	1,192	1,314
営業外費用合計	4,068	4,760
経常利益	16,023	10,171
特別利益		
特別利益合計	31	4
特別損失		
持分法適用関連会社の連結子会社化に伴う損失	—	858
投資有価証券評価損	1,506	580
特別退職金	426	508
固定資産除却損	413	413
その他	795	202
特別損失合計	3,142	2,562
税金等調整前四半期純利益	12,912	7,612
法人税、住民税及び事業税	2,775	1,529
法人税等調整額	1,691	△840
法人税等合計	4,467	688
少数株主損益調整前四半期純利益	8,444	6,923
少数株主利益	307	134
四半期純利益	8,137	6,789

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,444	6,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△783	△3,661
繰延ヘッジ損益	84	△309
為替換算調整勘定	5,820	7,621
持分法適用会社に対する持分相当額	1,101	9,964
その他の包括利益合計	6,222	13,614
四半期包括利益	14,667	20,538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,781	20,298
少数株主に係る四半期包括利益	885	240

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

・報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙パルプ 製品事業	紙加工 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	138,018	114,547	252,566	54,249	306,816	-	306,816
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,526	2,859	44,385	42,288	86,674	△86,674	-
計	179,545	117,406	296,952	96,538	393,490	△86,674	306,816
セグメント利益	11,223	4,555	15,779	1,755	17,534	△887	16,646

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材・緑化事業、不動産事業、コーンスターチ事業、機械事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△887百万円には、内部取引に関わる調整額447百万円、のれんの償却額△432百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△872百万円が含まれています。
全社費用は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費です。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

・報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙パルプ 製品事業	紙加工 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	130,023	124,536	254,559	49,569	304,129	-	304,129
セグメント間の内部売上高 又は振替高	39,679	3,254	42,933	42,563	85,496	△85,496	-
計	169,702	127,790	297,493	92,133	389,626	△85,496	304,129
セグメント利益	8,786	4,002	12,788	1,518	14,307	△1,923	12,384

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材・緑化事業、不動産事業、コーンスターチ事業、機械事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△1,923百万円には、内部取引に関わる調整額171百万円、のれんの償却額△613百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,432百万円が含まれています。
全社費用は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費です。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。